



# 吉本みづる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

## “天空の岩山”鋸山を日本遺産に

富津市選出の吉本充議員は、2月県議会の一般質問に登壇し、鋸山を中心とした“天空の岩山”が文化庁に認定されて、日本遺産への正式認定へ第一歩を踏み出したことをあげ、県の支援を求めた。また、安房地区への県立中学校設置、水産業の振興、老朽化したスポーツ・文化施設など富津市を中心とした県内各地の課題を取り上げ、県当局をただした。その概要をお伝えする。

# 正式認定への支援促す

### 2月県議会一般質問



2月県議会に登壇した吉本議員

**認定に向けた県の支援**  
吉本議員 日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものである。昨年7月、この日本遺産の候補地として、富津市と鋸南町が申請した、鋸山を中心とした天空の岩山が生んだ信仰と産業（房州石いし）の山名勝地鋸山は自然と歴史のミュージアムとしてのストーリーが、文化庁に認定され、正式認定へのスタートラインに立つことができた。

鋸山は、古くから信仰の山として栄え、江戸時代から良質な石材の石切り場として、日本の発展に大きく貢献した。富津市選出の吉本充議員は、2月県議会の一般質問に登壇し、鋸山を中心とした“天空の岩山”が文化庁に認定されて、日本遺産への正式認定へ第一歩を踏み出したことをあげ、県の支援を求めた。また、安房地区への県立中学校設置、水産業の振興、老朽化したスポーツ・文化施設など富津市を中心とした県内各地の課題を取り上げ、県当局をただした。その概要をお伝えする。

だ信仰と産業（房州石いし）の山名勝地鋸山は自然と歴史のミュージアムとしてのストーリーが、文化庁に認定され、正式認定へのスタートラインに立つことができた。

てきた。私の曾祖父や祖父も、石切りを家業としていた。また、小林茶や夏目漱石、正岡子規、東山魁夷等多くの文人墨客が訪れており、子規は「春風や鋸山を砕く音」という石切りの様子を詠んでいる。東山魁夷は「残照」により世に出るきっかけとなった。現在は、ダイナミックな石切り場跡の景観が楽しめ、日本寺の大仏や千五百羅漢石像群などの見所もあり、ふもとの金谷漁港や保田漁港では、海の幸も堪能できるなど、国内外からの観光客も多数訪れている。

地元では、観光振興や地域振興への期待が高まっております。県教育委員会は、現在、県指定名勝の「鋸山と羅漢石像群」が、国指定名勝となるよう学術的な調査研究を地

元市町に促すとともに、専門的な見地から指導助言を行ってまいります。  
**認定に向け地元がすること**  
吉本議員 日本遺産の認定は、既に認定されている104件の入れ替え制と聞いており、かつ、3年後に国が行う評価次第では、認定されないこともあるという。日本遺産の認定に向けて地元市町は何をすべきか。  
**教育長** 当該地域が日本遺産候補地域として認定された際に、国からは魅力的な場所であることは評価されていますが、ストーリーの再構築や構成文化財の有機的なつながりに欠けるなどの改善事項が示されており、3年後の総括評価に向け、これらを改善する取組が必須であることから、積極的に協力してまいります。

な情報が流出しないか、などのマイナスの先入観を払拭することが必要だ。そこで県には、現場の漁業者が新技術を正確に理解できるように研修会を開催していただこうと要望する。また、スマート関連機器には高価なものが多いため、漁業者の機器導入に対する支援制度を検討いただくよう併せて要望する。  
**青混せ海苔の増産**  
吉本議員 東京湾を代表する水産物の一つとして、アオリがあるが、アオリ養殖業は近年、海水温の上昇など漁業環境の変化により不漁が続いている。かつては百万枚前後で推移していた1経営体当たりの生産枚数は、近年では約60〜80万枚程度で停滞しているため、漁業者の収益確保には、生産枚数の回復のみならず販売単価の向上が必要である。さて、本県の特産であり希少な「青混せ海苔」は豊かな香り特徴で流通業者の評価も高く、通常のノリの1.5倍程度の価格で取引されている。何とか増産できないものかと考えていたところ、県水産総合研究センターが「青混せ海苔」の生産に必要なアオリの人口採苗技術の開発に成功したとの報道を目にした。そこで伺いたい。

り、富津市と鋸南町では、正式認定に向けた取組を進めていると聞いています。そこで伺いたい。  
**日本遺産候補地域「天空の岩山が生んだ信仰と産業」の日本遺産認定に向けて、県はどう支援をしようか。**  
**教育長** 新たな日本遺産の認定は、地元文化財活用はもとより、産業振興や観光振興の面からも大変有意義であると認識しています。しかし、日本遺産として認められるには、3年後の総括評価に向けて、観光地への整備はもとより、鋸山を国指定文化財としてストーリーの核に位置づけることが重要であると考えています。県教育委員会は、現在、県指定名勝の「鋸山と羅漢石像群」が、国指定名勝となるよう学術的な調査研究を地

元市町に促すとともに、専門的な見地から指導助言を行ってまいります。  
**認定に向け地元がすること**  
吉本議員 日本遺産の認定は、既に認定されている104件の入れ替え制と聞いており、かつ、3年後に国が行う評価次第では、認定されないこともあるという。日本遺産の認定に向けて地元市町は何をすべきか。  
**教育長** 当該地域が日本遺産候補地域として認定された際に、国からは魅力的な場所であることは評価されていますが、ストーリーの再構築や構成文化財の有機的なつながりに欠けるなどの改善事項が示されており、3年後の総括評価に向け、これらを改善する取組が必須であることから、積極的に協力してまいります。

な情報が流出しないか、などのマイナスの先入観を払拭することが必要だ。そこで県には、現場の漁業者が新技術を正確に理解できるように研修会を開催していただこうと要望する。また、スマート関連機器には高価なものが多いため、漁業者の機器導入に対する支援制度を検討いただくよう併せて要望する。  
**青混せ海苔の増産**  
吉本議員 東京湾を代表する水産物の一つとして、アオリがあるが、アオリ養殖業は近年、海水温の上昇など漁業環境の変化により不漁が続いている。かつては百万枚前後で推移していた1経営体当たりの生産枚数は、近年では約60〜80万枚程度で停滞しているため、漁業者の収益確保には、生産枚数の回復のみならず販売単価の向上が必要である。さて、本県の特産であり希少な「青混せ海苔」は豊かな香り特徴で流通業者の評価も高く、通常のノリの1.5倍程度の価格で取引されている。何とか増産できないものかと考えていたところ、県水産総合研究センターが「青混せ海苔」の生産に必要なアオリの人口採苗技術の開発に成功したとの報道を目にした。そこで伺いたい。

な情報が流出しないか、などのマイナスの先入観を払拭することが必要だ。そこで県には、現場の漁業者が新技術を正確に理解できるように研修会を開催していただこうと要望する。また、スマート関連機器には高価なものが多いため、漁業者の機器導入に対する支援制度を検討いただくよう併せて要望する。  
**青混せ海苔の増産**  
吉本議員 東京湾を代表する水産物の一つとして、アオリがあるが、アオリ養殖業は近年、海水温の上昇など漁業環境の変化により不漁が続いている。かつては百万枚前後で推移していた1経営体当たりの生産枚数は、近年では約60〜80万枚程度で停滞しているため、漁業者の収益確保には、生産枚数の回復のみならず販売単価の向上が必要である。さて、本県の特産であり希少な「青混せ海苔」は豊かな香り特徴で流通業者の評価も高く、通常のノリの1.5倍程度の価格で取引されている。何とか増産できないものかと考えていたところ、県水産総合研究センターが「青混せ海苔」の生産に必要なアオリの人口採苗技術の開発に成功したとの報道を目にした。そこで伺いたい。

## 青混せ海苔の増産図れ

### スマート水産業の推進

吉本議員 本県で水揚げされる新鮮で豊富な水産物は、首都圏を始め全国各地的に供給され、豊かな食文化の形成に大きく寄与している。しかしながら近年の水産業は、水産資源や漁業就業者の減少、漁業所得の低迷など、厳しい状況にある。これらの状況を改善するためには、ICT等の新技術を活用したスマート水産業の取組が有効と考えられる。こうした背景を踏まえ、

県では、昨年12月に千葉県県スリート水産業推進方針を策定したが、スマート水産業をどのように推進し、どのような技術の導入に取り組んでいくのか。

農林水産部長 この方針の推進に当たっては、現場ニーズを捉えた民間企業等の新技術の円滑な導入とスマート化を現場でけん引する漁業者の育成が重要となります。このため、漁業者と民間企業などが研修会や協働で取り組む実証試験を実

施してまいります。当面導入を目指す新技術は、水産資源の持続的利用に向けた漁獲報告システムや養殖漁場の水温情報等を陸上で確認できるICT搭載デバイスです。これらをロードマップに従って導入し、本県スマート水産業を推進してまいります。

る。このため、現場の漁業者が新技術を正確に理解できるように研修会を開催していただこうと要望する。また、スマート関連機器には高価なものが多いため、漁業者の機器導入に対する支援制度を検討いただくよう併せて要望する。  
**青混せ海苔の増産**  
吉本議員 東京湾を代表する水産物の一つとして、アオリがあるが、アオリ養殖業は近年、海水温の上昇など漁業環境の変化により不漁が続いている。かつては百万枚前後で推移していた1経営体当たりの生産枚数は、近年では約60〜80万枚程度で停滞しているため、漁業者の収益確保には、生産枚数の回復のみならず販売単価の向上が必要である。さて、本県の特産であり希少な「青混せ海苔」は豊かな香り特徴で流通業者の評価も高く、通常のノリの1.5倍程度の価格で取引されている。何とか増産できないものかと考えていたところ、県水産総合研究センターが「青混せ海苔」の生産に必要なアオリの人口採苗技術の開発に成功したとの報道を目にした。そこで伺いたい。



日本遺産への正式認定が期待される“天空の岩山”鋸山

# 老朽化したスポーツ・文化施設

# 更なる充実求め整備急げ

## 体育館 解体し建て替え

**吉本議員** 多くの人々に感動を与えた東京オリンピックパラリンピックは、改めてスポーツや文化の力を感銘した。これを活かすべくスポーツと文化部門が知事部局へ移



解体される県総合スポーツセンター体育館

管することのだが、これを好機に、拠点となる施設をしっかりと整備し、スポーツ文化振興への取組を更に進めていくべきだと思う。

**県総合スポーツセンター** 県の中核的なスポーツ施設である県総合スポーツセンターは、休館中の体育館が現在地で建て替えるとのことだが、その他にも整備が必要な施設があり、対応は急務だ。そこで伺う。

**千葉県総合スポーツセンター整備の見直しはどうか。**

**教育長** 開設後50年以上経過している県総合スポーツセンターでは、多くの施設の老朽化が進んでいることから、「県有建物長寿命化計画」に基づき、整備を進めています。

これまで武道館と野球場の大規模改修が終了し、

を引き続き、スポーツの裾野を広げる、またとない機会と考えています。

## 誰でも参加に工夫

**ちばアクアラインマラソン** 吉本議員 本年11月に開催される「ちばアクアラインマラソン」だが、今回で6回目を迎えて、地域に定着したものとなった。残念ながら2020大会が中止となったことから、是非ともこの秋の開催を期待してやまない。この大会も知事部局で担当すると

のことで、このマラソンをどのような大会にしていけるのか、新しい組織で改めて検討する必要があります。と伺う。

**ちばアクアラインマラソン** を、どのような大会にしていきたいのか伺いたい。

**知事** 本県最大のスポーツイベントとして、東京オリンピック、パラリンピックの成果

を引き継ぎ、スポーツの裾野を広げる、またとない機会と考えています。

このように取組と併せて、千葉らしい温かいおもてなしなど、大会と千葉の魅力を感じて以上で発信し、安全で安心な大会の開催に向け、鋭意準備を進めてまいります。

**開催にあたって** は、年齢、障害の有無にかかわらず、誰もが参加しやすく、楽しめるようなイベントとなるよう、コースの見直しを含め、更なる工夫を検討されるよう要望する。

## 博物館・美術館 一層の充実を



大多喜町に移譲される中央博物館大多喜城分館

**県立文化施設の老朽化**

吉本議員 県立博物館、美術館についても、開館以来、古いもので半世紀近く大きな修繕やリニューアルがされず、老朽化が進んでいる。

現在、県では、中核館である中央博物館の機能強化を前提に県立博物館の再編に取り組む、同時に県立美術館の活性化も進めている。

博物館の再編は、調査研究、教育普及といった役割が十分果たせるよう、しっかりと取り組む必要があるのでは

## パラスポーツ 空き施設の活用望む

**県障害者スポーツ施設** 吉本議員 千葉県障害者スポーツセンターの施設は、基本計画の策定に着手するとのこと、少しでも早く整備を進めていただきたい。

しかし、同センターの建物全体を見渡すと、施設が手狭で、老朽化が進んでいるという印象を受けた。まさに施設全体の検討が必要な時期が来ていると考える。

**障害者スポーツ・レクリエーションセンターのあり方検討ではどのように検討していくのか。**

**健康福祉部長** 同センターは、建築から36年が経過し、施設設備の老朽化等の課題が生じていることから、令和4年度に障害のある方やパラスポーツ関係者、有識者等で構成する会議を設置し、今後のあり方について検討することとしました。

この会議では、同センターが本県のパラスポーツの拠点であることを踏まえ、望ましい施設設備のあり方について、建替えや大規模改修等も視野に入れて検討してまいります。

**障害者スポーツ・レクリエーションセンター** については、スポーツを通じて障害のある方の自立や社会参加を促進して行くことはもちろん大切ですが、今後も続けていく必要がある。

しかしながら、パラスポーツは、練習場所にも困っているという声を聞く。令和4年度からは、スポーツ業務が健康福祉部からスポーツ文化局に移管され、スポーツ関係業務が一本化される訳だが、この機会に、パラスポーツが自由で安全に使えるような施設を、空いている県有施設を活用し、整備することを要望する。

しっかりと維持されることが大前提であり、後退する訳にはいかない。

**県立博物館美術館をどのように充実させ、活用していくのか。**

昨年12月には、中央博物館大多喜城分館が、地元大多喜町に移譲について合意し、リニューアルのため休館に入った。

**教育長** 知事部局へ移管した後は、まちづくりや観光産業、福祉といった様々な分野との連携により、文化的財産の魅力を引き上げるなど、県民の文化芸術活動の中核を層担えるよう取り組んでまいります。

リニューアル後は、本来の機能プラス、地元ならではのアイデアが反映され、より魅力や価値が向上することを期待している。そのためには、県立博物館の支援は不可欠だ。

今後は、こうした役割や取組をしっかりと継承した上で、組織や人員配置を見直すなど機能強化に努めるとともに、さらには学芸員の能力を引き出し新たな試みの展示や企画を創出し、活動の充実を図ってまいります。



# 県立中学校

## 安房地区への設置望む

**県立中学校の成果と活用**  
**吉本議員** 県教育委員会は、県立学校改革推進プランに基づき、私の地元の天羽高校に「工業基礎コース」を設置するなど、様々な学びを導入してきた。

南房総地域には、このほかにも、農業、工業、商業、海洋科学など、地元に着した多様な学科を有する高校が

あるが、これらの高校の特色を生かしながら、中学校と高校が連携し、6年間を通じた特色ある取組を通じて、地元の多様な産業を支える人材を育成することが重要である。

本県では、千葉中学校、東葛飾中学校の2校の県立中学校が設置されているが、南房総地域には、地域の高校と連携しながら、豊かな自

然や各高校の特色を生かしたキャリア教育を推進する、新たなタイプの県立中学校が必要ではないか。

そこで、**県立中学校の成果はどうか。また、今後、どのように成果を活用していくのか。**

**教育長** 県教育委員会では、中学校から高等学校の6年間の貫いた教育課程や学習環境の下、一人一人の個性をより重視した教育の実現を目指し、平成20年度に県立千葉中学校を、平成28年度には県立東葛飾中学校をそれぞれ設置しました。

両校では、探究的な学びや協働学習など特色ある教育を展開し、高い評価を得ている一方で、中学校と高校の合同授業など更なる連携を推進することにより、層間滑



バイパス工事の現地を視察する(右の2人目から) 熊谷知事、吉本県議、高橋・富津市長

# 急ぐバイパス整備

**千種新田バイパスの進捗**  
**吉本議員** 国道465号は、南房総国定公園に指定された富津岬や東京湾観音などの観光施設を相互に結び、地域間交流の活性化や経済流通に大きく貢献する幹線道路である。

しかしながら、富津市千種新田においては、未だ幅員狭小な箇所が多く残されていることから、通行に支障をきたしている。

このバイパスの整備により、緊急車両の到着時間短縮や、緊急避難路として重要な役割が期待されている。

このため、「一般国道465号整備促進期成同盟会」や富津市とともに私も、早期整備について県に強く訴えてきた。そこで、**国道465号千種新田バイパスの進捗状況はどうか。**

**国土整備部長** 国道465号の富津市千種新田地先では、道路の幅員が狭く、屈曲していることから、安全で円滑な交通を確保するため、延長9.50kmの千種新田バイパスを整備しております。

これまでに、西側2.90kmの市施行区間は整備が完了しており、残る6.60kmの県施行区間については、用地取

得が完了し、現在、J.R内房線をまたぐ橋梁工事の着手に向けて橋梁詳細設計を実施しております。

**本郷地区のバイパス整備**  
**吉本議員** 県道君津大貫線は、君津市から富津市に至る幹線道路で、J.R君津駅へのアクセスルートとなることから通勤や通学など、大変需要の多い道路である。

しかしながら、市境辺りは幅員が狭く、見通しが悪い急カーブが多く存在していることから、交互通行や通学時の通行に支障をきたしている。

現在、県がバイパス整備を

すすめているが1日も早い完成が望まれている。

そこで、**何うが、県道君津大貫線・本郷バイパスの進捗状況はどうか。**

**国土整備部長** 県道君津大貫線では、現道の幅員が狭く、円滑な通行が確保されていない。

特に、富津市二間塚の飯野橋付近はボトルネックとなつて交通安全上も問題があり、昨年10月には、道路拡幅について、地元から県に要望書が提出されている。

これは、要望する。

**要望** 富津市二間塚地先の道路拡幅について、早期に実施されるよう要望する。

**要望** 富津市二間塚地先の道路拡幅について、早期に実施されるよう要望する。

富津市二間塚地先の道路拡幅について、早期に実施されるよう要望する。